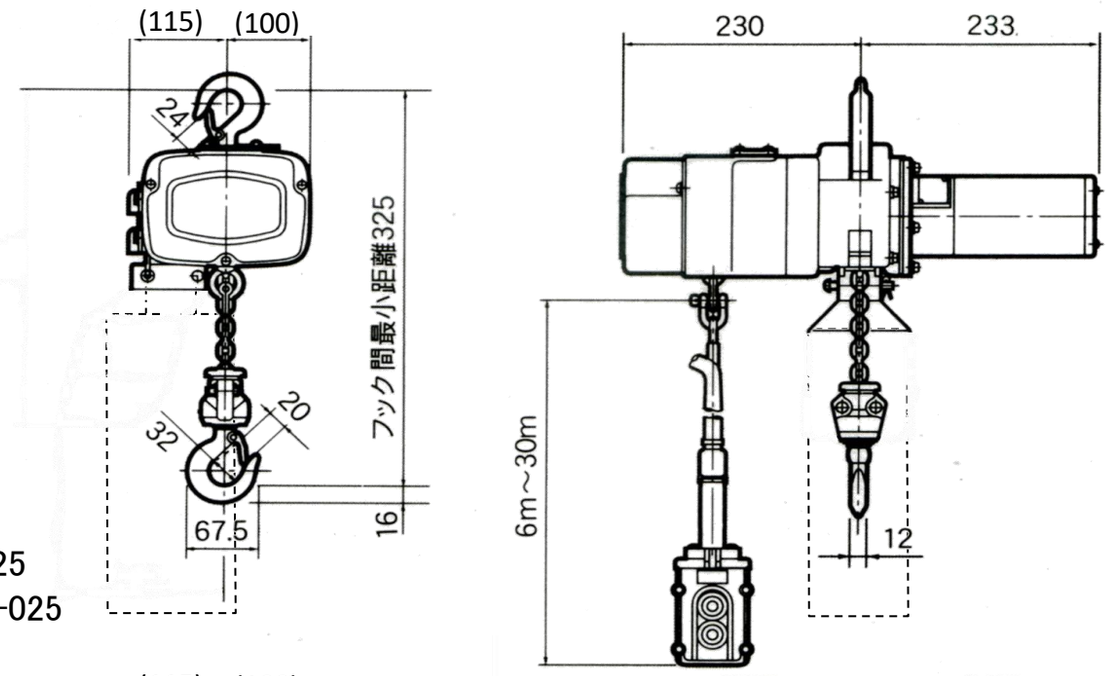
● 電動チェンブロック　姿図

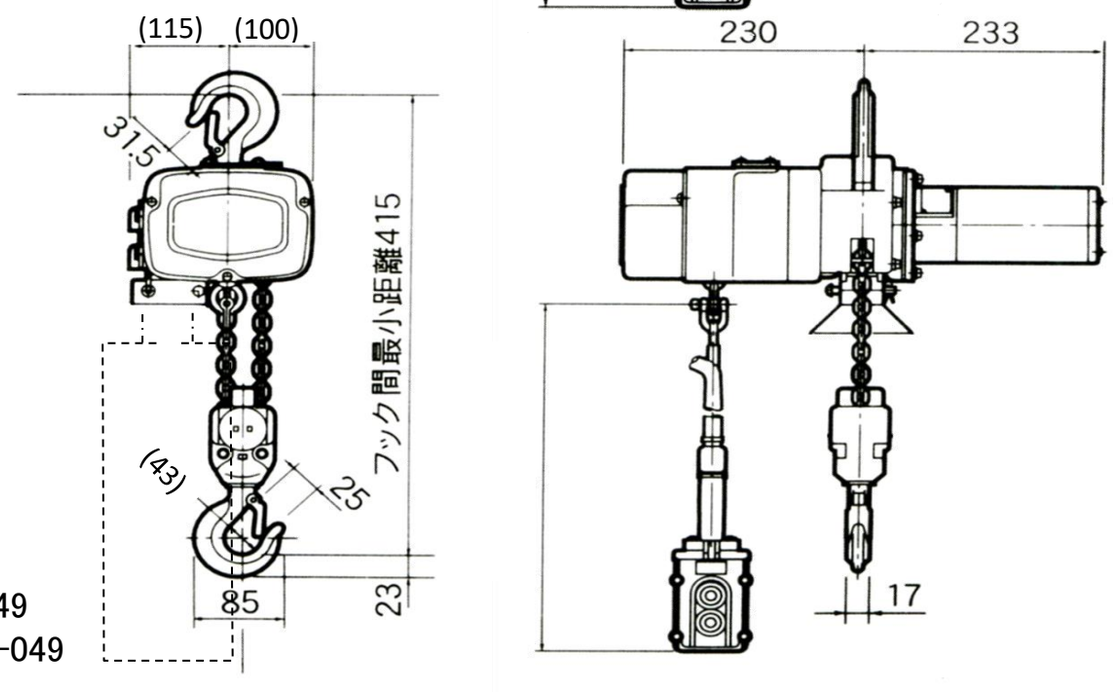
使いやすい100Vで最大1t吊や揚程は最高60m対応できる機種あり。微調整を要する作業向けの二速型もあります。

αS-049

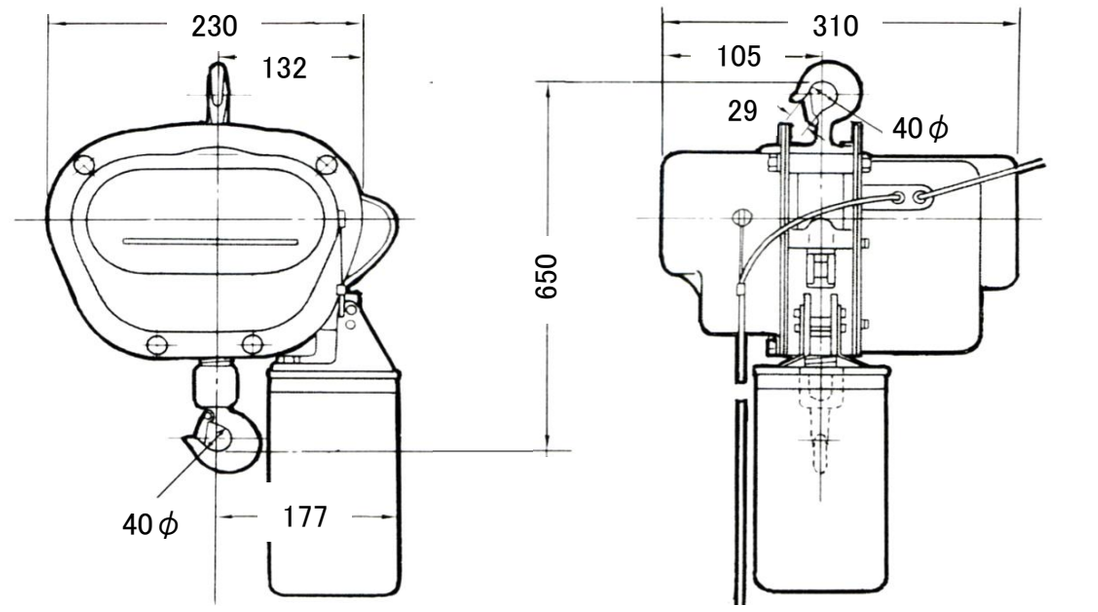
250kg吊
αS-025
αSβ-025



490kg吊
αS-049
αSβ-049

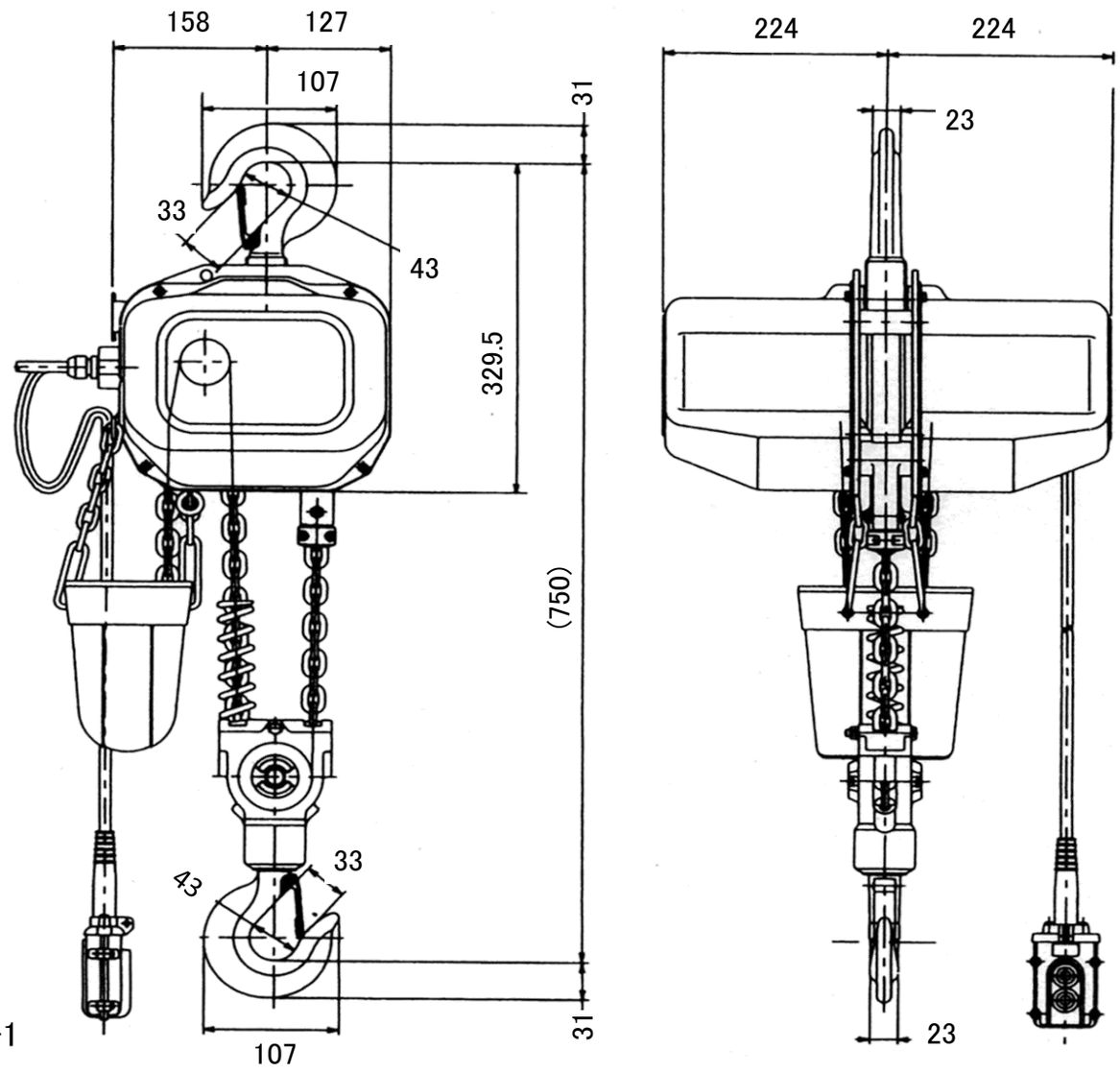


900kg吊
0.9EH1



SA-1
商品のチェンバケットは皮革製です。

1t吊
SA-1



● 電動チェンブロック　仕様表

型式		単位	αS-025(一速型) αSβ-025(二速型)			αS-049(一速型) αSβ-049(二速型)			0.9EH1	SA-1
定格荷重		kg	250			490			900	1000
揚程		m	12	30	60	6	15	30	6	12
質量	本体	kg	21	28	41	22	29	42	35	65
	手元コード		2	6	6	1	3	6	本体共値	本体共値
巻上速度	一速型	m/分	10	10	10	5	5	5	1.7	2.1
	二速型		4(緩)10(速)	4(緩)10(速)	—	4(緩)10(速)	2(緩)5(速)	—	—	—
フック間最小距離		mm	約390			約430			約650	約750
電源電圧		V	AC　単相100			AC　単相100			AC　単相100	
定常消費電流値		A	14			14			7	12
モーター出力		W	600			600			300	450
短時間定格		分	25			25			15	25
反復定格	負荷時間率	%ED	30			30			20	30
	最大始動頻度	回/h	180			180			120	180

※　$\%ED = \frac{t1}{t1+t2} \times 100$　ED:反復使用における1周期に対する負荷時間の比率
t1:運転時間
t2:休止時間

・上下限のスリップ機構を、常時使って止める使い方はしないで下さい。
・斜め引きはしないで下さい。(荷の真上に電気チェンブロックを移動させてから吊上げて下さい。)
・地球吊り(建屋構造物に引っ掛ける動作など)をしないで下さい。
・滑車付フックの場合ロードチェンがトンボ(チェンがねじれて溶接部が同じ方向にむいていない)状態になっていれば確認し、
異常の場合はフックを　チェンの間を通し修正してください。
・宙づりした荷を電気溶接しないで下さい。
・プラッキング(急逆転)や過度のインチング(寸動運転による動停止)をしないで下さい。(吊荷荷重の2倍を超える大きな瞬間負荷が
チェンブロックに加わることがあます。)
・ロードチェーンを荷に直接巻き付けないで下さい。
・負荷時間率、始動頻度を超える使用は絶対しないで下さい。
・雨や水のかかる使い方はしないで下さい。またチェンバケット内にも雨水が入らない様にしてください。(極端な錆の発生や絶縁低下を招きます)
・高温(40℃を超える)、低音(-10℃以下)、高湿(90%以上)や酸や塩分の多い場所や、爆発性の危険のある場所では使用できません。
・本体は必ず自然に吊り下がった状態でご使用下さい。本体に何かにあたった状態、固定した状態で使用しないで下さい。